

くすのき

校訓「かしこく やさしく たくましく そしてふるさとを愛する子どもに」

西合志第一小学校
学校だより 第64号
文責 校長 西村羊治

令和7年1月15日

どんどや

今年も合生地区で「どんどや」が行われました。合生コミュニティや各区長様、地区委員の方々が中心となり実施してくださいました。合生グランドの真ん中に大きく立派なやぐらをくみ、立派な炎が舞い上りました。来賓として、県議の高木様・池永様、荒木市長様、後藤市議会議長様、中島教育長様、轟支部長様等、たくさんの方々にご臨席いただき、盛大に行われました。午後1時に点火し、大きな炎に包まれたやぐらは見応えがありました。その後、ぜんざいをいただき、親子綱引き、bingoゲームと楽しく進んでいきました。合生地区のよき伝統が継承されています。すばらしい地区の行事を運営・参加される方々に感謝の気持ちでいっぱいです。企画・準備・運営・片付けなど本当にありがとうございました。子ども達にとっても、とても有意義な時間となりました。



どんどやの前で5・6年生



第一小のランナー

一期一会

11日（土）の午前、合志市民健康カントリーマラソン大会に無謀にも出場しました。西合志第一小の職員は7名もエントリーしました。しかし、熱発や急用で当日は3人の出場となりました。高齢の私と若手の辻建成先生と栄佑樹先生です。6kmの部に出場しました。私は、昨年・今年と入院し下手なゴルフも2年ほどしていません。体重も7kgほど増えました。その様な状態で、走れるか心配もあり冬休みの1月2日の朝、6km走ってみました。時速6kmぐらいの歩く速さで、なんとかノンストップで完走することができました。しかし、1週間ぐらい筋肉痛と右足親指付け根が、捻挫のような状態になりました。当日本番、6kmの部はゆっくり走る人がたくさんいるとの情報を得ていたので、軽い気持ちで会場に向かいました。そして、スタート时刻前にスタート地点に集合したのですが、人数は思ったよりも少なく（32人）カモシカのような脚をした若いランナーが数人もいました。もちろん年配の方もいました。私は甘く見ていました。スタートし1周を過ぎる頃、息は切れ、脚が上がらない状態になり、どんどんこされていきます。心臓が飛び出るくらいきつかったです。途中棄権も頭をよぎりましたが、保護者や卒業生が応援してくれていることもあり、意地でなんとか31位でゴールしました。

その後のことです。ゴール受付でサインをしていると、野球のユニフォームを着た小学生が数人近寄ってきました。私はしゃべるのもきつかったのですが、子ども達に「どこの小学校？」と尋ねました。すると、「○○小です、□□小です、△△小です」と笑顔で応えてくれます。それに対して、私は、「○○小なら△△校長先生だね、□□小なら○○校長先生だね、△△小なら□□校長先生だね。」と応えると、みんな驚いた表情で「えーなんて、校長先生の名前を知ってるんですかー。」と尋ねてきました。子ども達はいつの間にか15人ぐらいになり、「実は私は、西合志第一小学校の校長先生だから」と言うと、子ども達は「えーっ、校長先生なんですかー。」とさらに大きな声を出し驚いてくれました。とても気さくで子どもらしく、礼儀正しい子ども達でした。見ず知らずのおじさんに話しかけてくれる野球少年達のすがすがしさに、心地よい「一期一会」を感じました。きつかったです、合志市の子ども達と交流ができ充実した1日となりました。